

④避難シート

演習シート1		演習シート2	
(班)		(班)	
防災上の課題		オフィス・ビル内で起きる被害と必要な行動・対応	
防災上の資源		オフィス・ビル内で起きる被害と必要な行動・対応	
現 状 (防災点検結果)		遠方の巨大地震をイメージ	
今 後		首都直下地震をイメージ	
今後、改善が必要なこと		今後、改善が必要なこと	
今後、大切にしたいこと		今後、大切にしたいこと	

⑤ 参考資料 第5回セミナー演習シート整理結果

参考資料

第5回セミナーグループディスカッション
「オフィス・ビル内の防災点検マップの作成に向けて」演習シート

【防災点検マップにどのような視点・点検項目が必要？】

(1班)

- ・オーナービルと権利者がたくさんいるビルにおける取り組み方、進め方。
- ・テナントの協力を得ること。
- ・テナントの啓蒙。
- ・自社でやってそれをテナントに公開する。
- ・停電への備え。
- ・負傷者の備え。
- ・MAPを作ることそのものが啓蒙活動。
- ・負傷者の搬送（地下から上げる方法）。
- ・避難経路を明確にする（表示・見学会）。
- ・キャビネットの固定、横連結。
- ・重油の確保ができるか（非常電源用）。
- ・消火栓、消火器の場所の確認。
- ・備蓄品（トイレ・薬）。
- ・HP（モバイル版）で防災情報を周知していないか（暗い）。
- ・HP（モバイル版）で防災情報を周知しているか。
- ・全員が滞留できるフロアの広さ（特に共用スペース）があるか。
- ・棚の上に物を置いていないか。

(2班)

- ・天井ボード落下の危険性。
- ・避難経路表示。
- ・マップの内容、情報項目の整理。
- ・転倒の可能性。
- ・レイアウト。
- ・ガラス破片の防止。
- ・消防設備使用方法（場所の明示）。
- ・可動式キャスターのもの。

(3班)

- ・フロアごとの特徴⇒フロアごとの対策。
- ・給湯室のケア→火のケア。
- ・ブルーシートの配備。

- ・簡易トイレ。
- ・備品。
- ・壁に貼ってあるポスターの裏側に対応策を書いておく。
- ・家具：大きい家具、不安定な家具、転倒防止されていない家具。
- ・金庫などの重量物があるか？
- ・オフィスの家具の転倒落下防止。
- ・書棚の本→常に扉に鍵。
- ・避難経路の表示。
- ・書棚、コピー機等の固定。
- ・天井の落下防止（3/11日では問題なかったが）。
- ・スペース。
- ・レイアウトで動線の広さ等が確保されているかどうか。
- ・誘導方向や避難経路をマップに表示する（矢印で）。
- ・非常放送は聞こえるか？
- ・アラーム非等の操作方法を現場に表示する必要あり。
- ・非常用でエレベーターの表示。
- ・地区内残留地区。
- ・安全に待機できる場所の確保。
- ・怪我人の対策。
- ・医療機関への協力。
- ・応急手当用品の確保。
- ・天井→落下。
- ・スプリングラシー→水害→止めるバブル。
- ・SPの位置障害物があるかないか？

(4班)

□地震

- ・転倒、落下の可能性。
- ・障害物の有無。
- ・備蓄品（中味）。
- ・水・食料。
- ・情報収集・伝達。
- ・照明。
- ・冷蔵庫。
- 火災
- ・避難経路。
- ・消火設備。
- ・電気配線、コンセントの状況。

【防災マップを作成する上での課題は？】

(1 班)

- ・テナントが入っている場所に立ち入れないためマップが作れない。
- ・テナントに防災マップを作ってもらえないか (作らせることはできるか)。
- ・館内放送のタイミング。
- ・負傷者対策 (テナントの医者の頼み、上から降ろすのに時間がかかる)。
- ・外へ避難するかしないかの判断は誰がするのか (基準は)。
- ・備蓄品の倉庫をどこに作るか (ビルとしてか、テナントとしてか)。
- ・テナントの総務部門を巻き込めるか (テナントに組織的に動いてもらう)。
- ・オープンスペース収容人数 (一時滞在者対応)。
- ・暑さ・寒さ対策盛り込み。
- ・備蓄食料 (館内レストランと協力体制)。

(2 班)

- ・地震発生直後の揺れている間の安全スペースの確保。
- ・帰宅困難者の留め置きスペースの確保。
- ・身体が自由な方の避難動線。
- ・備蓄品の保管スペース。
- ・アンカーなどで固定できないもの。
- ・スタンダードなサイン。
- ・マップの見直しを誰が何時するか。
- ・担当者を持ち回り、利用者の当事者意識。

(3 班)

- ・ビル内の勤務者が数千人と多勢。
- ・少人数で多勢を動かす (誘導)。
- ・外国人を誘導。
- ・テナントとの運動 (人事異動)。
- ・防災に対する意識がない。
- ・点検マップ作成後のオペレーションや周知方法 (どういかにできるのか)。
- ・誰が見ても分かりやすく作成する方法 (分かりやすさ)。
- ・備蓄品の定期的な管理をしているか。
- ・人事で人が変わっても情報を共有出来ること。
- ・各種の表示を整理し統一する。
- ・テナントへの周知 (防災センターだけでは対応不可)。
- ・フロアごとに教育。
- ・フロア別の個人別に教育。
- ・訓練 (ドリル・エクスササイズ)。
- ・各自の自覚。

- ・各従業員の防災に関する意識の問題 (積極性など)。
- ・長周期地震動への対策・取り組み。
- ・新宿の特性として誘導員がいなくても避難などが出来るマップが必要。

(4 班)

- ・マップの目的は？
- ・皆の意見で作る事が大切。
- ・誰でも分かる表記。

その他意見

- ・防災点検マップで対象としている機器・設備等点検項目のピクトグラム (アイコン) について、新宿駅周辺地域で共通のユニバーサルデザインを作成してみてもどうか。

以上

⑥ アンケート

7. セミナーに参加して、大規模地震等への対策について認識を新たにすることがありますか。

8. 今年度のセミナーの内容以外で、大規模地震等への対策、地域連携、業務継続等に関して日頃疑問に思う点や知りたいと思っている事項がありますか。(来年度以降、セミナーとして開催して欲しいテーマはありますか。)

9. 本日のセミナーに参加しようと思われた理由についてご記入ください。

その他本日のセミナーへのご意見、ご感想、ご質問等ございましたらご記入ください。

■ ご記入者 (差し支えない範囲でご記入ください。)

ご所属 お名前

お勤め先において、災害時に対応すべき役割を担っていますか？ ①はい ②いいえ

①を選択された方は、災害時の役割名および内容についてお聞かせください。

役割名:

内容:

～～ ご協力ありがとうございました。 ～～

新宮町消防防災協議会 第6回セミナー アンケート

今後の参考のためにアンケートにご協力をお願いします。(該当番号に○をつけてください。)

1. 本日のセミナーはいかがでしたか？

良かった	どちらかというくらい良かった	どちらともいえない	どちらかというくらい悪かった	悪かった
5	4	3	2	1

2. 全体を通じた分りやすさはいかがでしたか？

分りやすかった	どちらかというくらい分りやすかった	どちらともいえない	どちらかというくらい分り悪かった	分りにくかった
5	4	3	2	1

3. オフィス・ビル内における地震被害はイメージできましたか。

できた	どちらかというくらいできた	どちらともいえない	どちらかというくらいできなかった	できなかった
5	4	3	2	1

上記設問について選択肢を選んだ理由を具体的にお聞かせください。

4. 【グループディスカッション】グループディスカッションは有意義でしたか。

有意義だった	どちらかというくらい有意義だった	どちらともいえない	どちらかというくらい無意味だった	無意味だった
5	4	3	2	1

上記設問について選択肢を選んだ理由を具体的にお聞かせください。

5. 今後皆さんのオフィス・ビルにおいて被害想定を作成しようと思いますか？

思う	どちらかというくらい思う	どちらともいえない	どちらかというくらい思わない	思わない
5	4	3	2	1

上記設問について選択肢を選んだ理由を具体的にお聞かせください。

(裏面へ続く)

⑦ 参考資料 第6回セミナー演習シート整理結果

第6回セミナー グループワーク 「オフィス・ビル内で起きる地震被害を想定する」演習シート（2）			
【オフィス・ビル内で起きる被害と必要な行動・対応】			
原因	被害	対応	
揺れ	■1階	■1階	■1階
	■2階	■2階	■2階
	■3階	■3階	■3階
	■4階	■4階	■4階
揺れ	■1階	■1階	■1階
	■2階	■2階	■2階
	■3階	■3階	■3階
	■4階	■4階	■4階

第6回セミナー グループワーク 「オフィス・ビル内で起きる地震被害を想定する」演習シート（1）			
【防災上の課題】			
現状（防災意識・備蓄）	今後、改善が必要なこと	今後、改善が必要なこと	今後
■1階	■1階	■1階	■1階
	■2階	■2階	■2階
	■3階	■3階	■3階
	■4階	■4階	■4階
■1階	■1階	■1階	■1階
	■2階	■2階	■2階
	■3階	■3階	■3階
	■4階	■4階	■4階